

きした 敬 二 木下けいじ 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

2月県議会

知事の政治姿勢を厳しく問う

自民党代表質問に登壇

53名の自民党県議を束ね、党千葉県支部連合の政務調査会長として重きをなす木下敬二(きしたけいじ)県議は、新年度予算案を主な議案とする2月定例会県議会で、自民党の代表質問に通常5回目の登壇を果たしました。木下県議は、森田知事の政治姿勢を問うとして、中国・武漢市から世界中に蔓延している新型コロナウイルス対策を真っ先に取り上げました。また、昨年9月から10月にかけて千葉県を直撃した台風と豪雨災害の復旧・復興について問いかけ、未だ被災者の傷が癒えていないとし、新年度予算案での県執行部の被災者支援対策をただしました。県政全般にわたる重要課題を取り上げた木下県議の自民党代表質問のうち、主な質疑をご報告します。

医療機関の連携体制

木下議員 知事の政治姿勢についてです。中国湖北省、武漢市において、



5度目の自民党代表質問に登壇した木下県議

新型コロナウイルス感染症が発生し、いままお、世界各地で感染が続いています。執行部においては、県民に迅速で正確な情報の発信を行うとともに、国や市町村と連携し、いたずらに風評被害が広がらないよう万全の対策を尽くしていただきたい。

そこで、県内での広がり懸念される中、どのように感染防止の体制を

確保しているのか。

森田知事 県では、2月7日に感染が疑われる人の外来診療体制として「帰国者・接触者外来」を整備するとともに、感染が疑われる帰国者や被接触者の相談に応じる「帰国者・接触者相談支援センター」を設置しました。

今後の県内の患者の増加に備え、感染症の専門家の方々のご意見を伺いながら、患者の症状に応じた入院病床の確保や重症化に伴う転院など、医療機関の連携体制の構築に努めているところ

また、医師の知見や対応能力を高めるため、県医師会と共催で、医師向けの研修会を開催しているところ

木下議員 知事の政治姿勢の第2は、令和元年度の台風等災害被害からの復旧復興についてです。補正予算では、通常より踏み込んだ対策が打ち出され、復旧復興に向けて全力で取り組んでいくという県の意気込みが感じられました。

復旧に向けた予算配分

しかし、業者不足などから、未だ屋根をブルーシートで覆われた家屋が目立つなど、復旧の完了にはまだ時間がかかりそうであり、来年度も引き続き取り組みを続けていく必要があります。

令和元年度台風等の被害を踏まえ、新年度予算ではどのような点を重視して編成したのか。

森田知事 まずは、12月補正予算編成後に、被害状況の確認がさらに進んだことを受け、被災した住宅や農業用ハウス等への支援について、予算を増額し、必要額を確保しました。

また、これらを含め、執行

までに時間を要する事業については、被災した方々がきちんと元の生活に戻れるまで、支援を継続できるよう、繰越の設定を行ったところです。

その上で、

★宮川流域の河道拡幅や調節池の増設等の特別緊急事業のほか、河川の浚渫や河川改良の促進など、治水対策の強化

★急傾斜地の擁壁整備などの土砂災害対策

★地域防災力向上への支援の拡充や、停電時の非常用自家発電の整備促進

など、防災・減災対策にも重点的に予算を配分したところです。

今後も引き続き、復旧・復興及び災害に強いまちづくりに向けて、全力で取り組んでまいります。

●鴨川・南房総地域の声を県政へ

木下けいじ 県事務所

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1 TEL.0470(44)4111 FAX.0470(44)4112

●木下けいじ公式ホームページ=http://kishitakeiji.com/ ●Eメール=info@kishitakeiji.com

有害鳥獣対策

捕獲個体の円滑な処理を!

見相の職員を大幅増員へ



再質問に立ち上がった木下県議

個体処理に県が助成

木下議員 イノシシなど有害鳥獣による本県の農作物被害は、大変深刻な状況が続いています。有害鳥獣の被害は、農業者の営農意欲を低下させかねないことから、地域の基幹産業である農業を維持していく上で、大きな課題になっています。

有害鳥獣の捕獲従事者は、イノシシを捕獲した後、穴を掘って埋める作業や、埋めずに焼却する場合に必要となる解体作業などに負担を感じていると聞いています。有害鳥獣の捕獲個体の円滑な処理に向けて、県はどのように取り組んでいるのか。

滝川副知事 県では、昨年6月、市町村とともに「有害鳥獣捕獲個体の処理に係る検討会」を設置しました。

検討会では、捕獲従事者にとって負担となっている捕獲個体の埋設や解体作業を行わず、個体をそのまま処理できる専用施設や、処理前に二時的に冷蔵・冷凍保管する設備を整備する必要があるとの意見が多く出されました。

このため、来年度は市町村が国の交付金を活用して、有害鳥獣専用処理施設を整備する場合には、新たに県が上乗せして助成を行うほか、交付金の対象にならない一時保管設備のみの整備費についても、県単独で助成を行うこととし、必要な経費を当初予算案に計上しました。

県としては、この助成制度の活用などにより、捕獲個体の円滑な処理が進むよう、市町村を支援してまいります。

体制強化に向け

木下議員 昨年1月に発生した女児虐待死亡事件から、はや1年が経ちました。9月議会では、わが党が中心となり、「子どもを虐待から守る条例」を改正し、附帯決議でさまざまな対策を取るよう、執行部に求めたところです。

県がしっかりと反省し、課題に対応していくためには、まずは児童相談所の体制強化が必要だと考えています。そこで、児童相談所の体制強化について、今後どう取り組むのか、伺います。

森田知事 県では、女児死亡事例の検証報告を受け、児童相談所の業務執行

体制の強化のため、職員を増員するほか、組織改正を行います。

具体的には、

- ★令和2年度に児童相談所職員を110名程度増員します。
- ★中央・市川・柏児童相談所においては、保健師など多職種を配置した「支援課」を新設することにより、ケースマネジメントを強化します。
- ★中央児童相談所に「人材育成研修課」を新設し、研修の高度化を図り、職員一人ひとりの能力向上を計画的に進めます。
- また、児童家庭課に男女共同参画課からDV対策業務を移管し、児童虐待部門とDV対策部門の連携強化を図ります。

重度障害者の医療費

木下議員 重度心身障害者児医療給付改善事業は、重度障害の方の健康と福祉の増進、負担軽減のため、市町村が行う医療費助成に対して、その一部を県が補助するもので、障害のある方にとって重要な制度です。

重度心身障害者児医療

給付改善事業について、精神障害者の対象拡大に向けた市町村などの調整の状況はどうか。また、いつから実施する予定なのか。

滝川副知事 対象を拡大するにあたっては、

○実施主体である市町村における条例や規則の改正

交通死亡事故の特徴

木下議員 交通事故死者数「全国ワースト1位」の脱却に向けて、交通安全対策をより一層加速させる必要があります。そこで伺います。

昨年の交通死亡事故の特徴はどうか。

早川警察本部長 昨年中、県内において交通死亡事故は167件発生し、事故による死者は172人上っています。

死亡事故を類型別で見ると、車両対歩行者の事故が66件で最も多く、事故死者

の状態別でも歩行中が75人最多となっています。75人のうち、道路横断中が42人で、その約7割では横断歩道以外の場所を横断して被害に遭われています。

事故死者の年齢層別では、65歳以上の高齢者が90人で最も多く、全体の5割を占めており、歩行中の死者については、その65%が高齢者となっています。

また、交通死亡事故のうち、高齢運転者が第1当事者となった事故は37件で、ドラ

この結果を踏まえ、市町村などにおいて必要な準備を進めていただくとともに、県民等への周知を図り、本年8月から精神障害者への対象拡大を実施したいと考えています。

木下議員 広域的な幹線道路ネットワークの整備状況はどうか。

森田知事 県内外とのスムーズな人の流れを強化し、生産性の向上や防災力の強化を図るため、圏央道や館山道、北千葉道路などの広域的幹線道路ネットワークの整備に努めています。

このうち、圏央道の大栄・横芝間は、令和6年度の開通に向け事業が進められるとともに、茂原長柄スマートインターチェンジが今月16日に開通したところです。

館山道の富津中央・富津竹岡間は、来月6日に4車線運用が開始される見込みとなり、これにより館山道の全線が4車線となります。

館山道4車線

イバーが第1当事者となった死亡事故の4分の1を占めていること、飲酒運転による死亡事故が前年比4件増え、全国ワーストとなる13件発生していることなどが特徴として挙げられるところです。

自民党の代表質問項目

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 私学助成について
- 3 首都圏空港の機能強化について
- 4 児童虐待防止対策について
- 5 袖ヶ浦福祉センターについて
- 6 重度心身障害者(児)医療給付改善事業について
- 7 保健師等修学資金貸付金等の手続未了者について
- 8 有害鳥獣対策について
- 9 湖沼における外来水生植物対策について
- 10 CSF対策について
- 11 県内の幹線道路ネットワークについて
- 12 幕張新都心の京葉線新駅設置について
- 13 第3期千葉県教育振興基本計画について
- 14 交通安全対策について
- 15 千葉県迷惑防止条例の改正について
- 16 その他